

南海トラフ巨大地震による落橋を想定した 国土交通省、自衛隊、延岡市による 合同訓練を行います。

災害対策用機械車輛が五ヶ瀬川を渡る！！

南海トラフ巨大地震を想定して自衛隊の81式自走架柱橋（以下、架柱橋）の架設訓練とそれを活用した国土交通省災害対策用機械車輛及び延岡市消防関係車輛の渡河訓練を合同で実施します。

① 応急仮設橋設置訓練

2月22日（月）～3月2日（水）

自衛隊による架柱橋架設訓練

② 合同渡河訓練

1) 日時： 2月26日（金）8時00分～30分

訓練内容説明

国土交通省災害対策用機械車輛、延岡市消防関係車輛の渡河訓練

2) 場所：五ヶ瀬川河川敷（五ヶ瀬川左右岸5 k 5 0 0 付近）（別紙参照）

3) 訓練想定・内容：

震度6強の南海トラフ巨大地震が発生し、五ヶ瀬川にかかる橋梁等が落橋し通行行が出来ないとの想定による、自衛隊の応急仮設橋設置訓練及び国土交通省の災害対策車輛、消防関係車輛による情報収集・災害対応のための渡河訓練を行うものです。（詳細は別紙参照）

※ 架柱橋は、『延岡花物語』の中の『このはなウォーク』期間(2/27(土)～2/28(日))に駐車場と会場を結ぶ動線として一般の人開放されます。

1. 訓練想定

- 平成28年2月22日未明に南海トラフ巨大地震が発生。
延岡市は震度6強の地震動を観測した。
- 延岡平野では、20分後に5m程度の大津波が発生し、延岡平野(国道10号、五ヶ瀬川水系沿川)で甚大な浸水被害が発生した。
- 五ヶ瀬川に架かる各橋梁では、強い地震動により落橋(らっきょう)や液状化に伴い橋梁を通行することができない状況が発生した。

2. 訓練内容

- 延岡市は、陸上自衛隊に架柱橋を出動依頼。
- 陸上自衛隊は、2月22日10時(予定)から架設作業を開始し、2月25日17時(予定)に架設完了。
- 国土交通省は、2月26日8時00分(予定)から架柱橋を活用し、災害対策用機械車両(下記参照)4台を、又、市消防本部は救助工作車1台を左岸から右岸へ派遣し、情報収集、災害対応を実施する。

(車輛の動線については、下記配置計画図参照して下さい。)



81式自走架柱橋



架設中の架柱橋(下部より)



河川・道路パトロールカー(2台)



排水ポンプ車(1台)



照明車(1台)

